



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 日本外科宝函 1932, 9(1)

ISSUE DATE:

1932-01-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/201747>

RIGHT:

日本外科寶函第九卷

(昭和七年)

總目次

腎臟水腫ノ成立ニ關スル研究(第3回報告)

輸尿管狹窄ノ程度問題 盛 彌 壽 男 (1)

レントゲン線照射時間ト L イムペヂン T 破却トニ關スル實驗的研究(其ノ1) L チフス T 菌沈澱反應ニ就テ 石 谷 九 左 衛 門 (14) L アルチゴン T ノ含有スル L イムペヂン T 即チ免疫阻止物質ノ立證(第4報)抗腸窒扶斯菌 L トロピン T 產生ノ阻害 阪 本 延 次 (20)

肋間神經切斷ノ呼吸性瓦斯交換ニ及ボス影響ニ就テノ實驗的

研究 小 山 田 豊 (31)

腎臟水腫ノ成立ニ關スル研究(第4報)

機能的排尿障碍ニ因ル腎臟水腫 盛 彌 壽 男 (105)

横隔膜神經擦除並ニ肋間神經切斷ノ呼吸性瓦斯交換ニ及ボス

影響ニ就テノ實驗的研究 小 山 田 豊 (115)

胸管及ビ左頸淋巴幹管結紮ノ爲メニ起ル淋巴道ノ變化並ニ胸

管損傷ノ處置ニ就テ 野 瀬 善 三 (131)

 L スピロヘータ・バルリダ T ノ產生スル L イムペヂン T ハ其ノ蛋

白體側ニ在リヤ或ハ類脂體側ニ在リヤ 巽 馨 (143)

胃噴門部遊離移動術ニヨル該部ノ循環障碍ニ就テ 荒 木 千 里 (153)

横隔膜 L ヘルニヤ T (假性)ハ怖ルベキ乎 荒 木 千 里 (163)

食道切除後其上斷端ノ閉鎖縫合ハ癒合シ得ル乎 荒 木 千 里 (168)

食道胃吻合術ニ關スル實驗的研究(第1報)諸種縫合方法ノ比較 荒 木 千 里 (175)

食道胃吻合術ニ關スル實驗的研究(第2報)

吻合癒合ヲ確實ナラシムベキ2, 3ノ補助操作ニ就テ

特ニ吻合部大網膜被包法ニ就テ 荒 木 千 里 (206)

傳研製赤痢 L ワクチン T 中ノ菌體ハ L イムペヂン T ヲ含有スルカ 林 文 (224)赤痢本型菌 L アナワクチン T ノ免疫學的研究(第1報)溶菌素產生ニ於ケル L イムペヂン T 現象 林 文 (246)

赤痢本型菌 _L アナワクチン ⁷ ノ免疫學的研究(第2報)抗感染試験 (其ノ1).....	林 文	(262)
赤痢本型菌 _L アナワクチン ⁷ ノ免疫學的研究(第3報)抗感染試験 (其ノ2).....	林 文	(270)
赤痢 _L アナトキシン ⁷ (目黒)ノ含有スル _L イムベジン ⁷ ノ立證(第1報) 試験管内喰菌作用ニ及ボス影響	林 文	(278)
赤痢 _L アナトキシン ⁷ (目黒)ノ含有スル _L イムベジン ⁷ ノ立證(第2報) 抗腸室扶斯凝集產生ニ及ボス影響	林 文	(285)
寒性膿瘍ト熱性膿瘍トノ生物學的區別ニ就テ	阪 本 延 次	(303)
腎臓水腫ノ成立ニ關スル研究(第5報) 腎臓水腫ノ形成ヲ促進スル要素	盛 彌 壽 男	(377)
後肢血管壁ノ神經分布ニ就テ(第2回報告) 組織學的檢索	田 内 尙 民	(389)
_L バラチフス ⁷ A菌ノ含有スル _L イムベジン ⁷ ガ抗黃色葡萄狀菌 喰菌現象ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究	石 谷 九 左 衛 門	(409)
肋軟骨外科ノ解剖學的病理學的及ビ臨床學的研究	宮 崎 松 記	(424)
腹膜異物吸收ニアタリ淋巴管ニ現ル、諸現象 特ニ淋巴管壁ノ異物通過性ニ就テ	手 島 五 洲	(585)
人ノ癩結節ハ _L イムベジン ⁷ ヲ含有スルヤ	黃 文 陶	(610)
人ノ癩結節中ニ含有スル _L イムベジン ⁷ ヲ完全ニ破却スル爲ニ 必要ナル好適煮沸時間ノ研究	黃 文 陶	(619)
睪丸及ビ副睪丸内ニ於ケル淋巴管ノ微細分佈ニ就テ	内 藤 永 二	(685)
食道生理ニ關スル實驗的研究	東 三 平	(701)
食道ノ血管分佈ニ就テ(第1報)家兎ノ食道ニ就テ	都 谷 枝 萬 次 郎	(729)
好適煮沸時間ト反應ノ位相トヲ顧慮シタル場合ニ於ケル人癩 結節 _L イムベジン ⁷ 現象	黃 文 陶	(745)
癩菌ニヨル _L イムベジン ⁷ 現象 人ノ健康皮膚ト人癩結節トノ生物學上ノ差別	黃 文 陶	(760)
人ノ癩結節中ニ含有セラレタル _L イムベジン ⁷ ノ抗腸 _L チフス ⁷ 菌 特殊免疫凝集素產生ニ及ボサル影響	黃 文 陶	(780)
_L オムナデン ⁷ ノ自然喰菌作用ニ於ケル _L イムベジン ⁷ 現象	黃 文 陶	(805)
_L オムナデン ⁷ ノ _L イムベジン ⁷ ヲ破却スルニ要スル好適煮沸時		

間ノ研究	黃	文	陶	(819)
原 _L オムナヂン ⁷ ト20分煮 _L オムナヂン ⁷ トノ抗原能働力ノ差ハ 毒力ノ差ニ歸スベキカ	黃	文	陶	(829)
原 _L オムナヂン ⁷ ノ含有スル免疫阻害物質(_L イムペヂン ⁷)ノ立證, 抗腸 _L チフス ⁷ 菌特殊凝集素產生ノ阻害	黃	文	陶	(846)
_L オムナヂン ⁷ 中ノ菌體ノ意義	黃	文	陶	(872)
淋巴管壁ノ異物通過ニ及ボス <u>レントゲン線</u> ノ影響	手	島	五 洲	(866)
胸管及ビ兩側頸淋巴幹管結紮ノ動物ニ及ボス影響	內	藤	永 二	(956)
食道外科ト迷走神經 第1編迷走神經損傷ノ呼吸ニ及ボス影響ニ關スル實驗的研究…東	三	平		(962)
食道ノ血管分佈ニ就テ(第2報)犬ノ食道ニ就テ	都	谷	枝 萬 次 郎	(983)
開胸術後肋膜吸收作用ノ實驗的研究(第1回報告)	落	田	學	(998)
黃色葡萄狀球菌感染皮膚局所ニ發生シタル特殊性自働免疫ノ 立證	八	田	捨 二	(1015)
所謂食餌性骨病ニ就テ, 1白糖攝取ニヨル幼若家兔骨變化ニ 就テ	山	根	孝 行	(1028)

臨	床
---	---

最近5ヶ年間に於ケル胃及十二指腸潰瘍ノ統計的觀察ニ就テ

(下)	山	根	齊	(45)
無菌の開腹術後ニ於ケル腹腔内癒着ニ就テ	神	部	信 雄	(63)
<u>バセドウ</u> 甲狀腺腫切除後ニ發見シタル糖尿ニ就テ	長	岡	浩	(309)
<u>テイーチエ氏病</u> ノ一例	姬	井	淑	(312)
昭和6年滿洲事變ノ凍傷ニ就テ	鷹	津	冬 一	(314)
植物性腸石ニ因ル腸閉塞症ノ1例	岩	城	達	(629)
慢性經過ヲトレル非結核性膿瘍ニ於ケル蛋白溶解素	裕	文	雄	(902)
特發性氣胸ニ就テ	勝	呂	進	(1052)
皮膚護謄腫(臨床講義)	鳥	潟	隆 三	(69)
横隔膜下膿瘍(臨床講義)	磯	部	喜 右 衛 門	(78)
膀胱乳嘴腫(臨床講義)	鳥	潟	隆 三	(326)
大腿ノ深部慢性腫脹(臨床講義)	磯	部	喜 右 衛 門	(331)

化膿性骨髓炎(臨床講義)	磯部 喜右衛門 (634)
腹部腫瘍及膽石症(臨床講義)	鳥 潟 隆 三 (640)
皮膚癌(臨床講義)	鳥 潟 隆 三 (906)
齒齦腫(臨床講義)	鳥 潟 隆 三 (1057)

雑誌抄讀會(11月)

1. 誤診サレタル癰.....	(83)
2. 多發性膠様纖維腫.....	(84)
3. 頭蓋骨折ヲ疑ハシメタル血腫ノ1例	(84)
4. 膀胱乳嘴腫ノ1例	(85)
5. 植皮1例	(86)

京都外科集談會(12月例會)

1. 肺結核ニ肺臟剝離術「コクチゲン」注射及ビ人工氣胸法ヲ併用シテ好結果ヲ得タル1例	(337)
2. 無結石膽石症.....	(337)
3. 小腸重積症手術後ニ現レタル急性十二指腸擴張症.....	(339)

京都外科集談會(1月例會)

1. 不定骨痛.....	(341)
2. 空腸上位ノ腸閉塞症.....	(342)
3. 空腸高位腸閉塞ノ1例	(343)
4. 結核性腹膜炎ノ診斷.....	(345)
5. 蟲様突起炎ニヨル腰部膿瘍.....	(347)

京都外科集談會(2月例會)

1. 巨大ナル上腹部腫瘍.....	(648)
2. 搏動ヲ示セル副腎腫ノ骨轉移.....	(649)
3. 十二指腸球部畸形ノ1例	(650)
4. 胃潰瘍穿孔ーヨル横隔膜下膿瘍ニ就テ.....	(651)
5. 陳舊ナル窄扼性膿胸ノ1例ニ就テ	(652)
6. 傳染セル鬱積膿瘍.....	(653)

京都外科集談會(3月例會)

1. 食道外科.....	(654)
--------------	-------

京都外科集談會(4月例會)

1. 熱性膿瘍ヲ思ハシメタル寒性膿瘍ノ1例	(912)
-----------------------------	-------

2. 化膿セル創ハ凡テ開放性ニ處置スベキカ……………(912)
3. ハツケル氏胃腸吻合術後ニ起レル消化性空腸潰瘍……………(914)
4. 辜丸腫瘍……………(915)
5. 兩側先天性橈骨尺骨癒合ノ1例……………(916)

京都外科集談會(5月例會)

1. 移動性盲腸ノ1新臨床診斷法……………(916)
2. 握雪音ヲ示シタル腹部瘍……………(917)
3. 壓迫示界法(Druckbegrenzung)ノ診斷上ノ意義……………(918)
4. 腸管囊氣腫ノ1例……………(919)
5. 蛔蟲ノ迷入ニヨル性性虫様突起炎……………(920)
6. 蟲様突起炎ノ症狀ハ蟲様突起炎ニ固有ナリヤ……………(920)
7. 蟲様突起炎ヨリ來レル穿孔性腹膜炎ニヨル麻痺性イレウス¹⁾ノ1治驗例……………(920)
8. 特別講演上海從軍醫談……………(921)

京都外科集談會(6月例會)

1. 植皮ノ仕方ニ就テ……………(1062)
2. 乳腺腫瘤ノ1例ニ就テ……………(1062)
3. 潜在セル腸結核ノ穿孔ニヨル急性腹膜炎……………(1063)
4. ブラウン氏補助吻合部ヲ基點トシタル腸重積……………(1064)
5. 骨盤結締織内ヘ深く侵入セル巨大卵巢囊腫……………(1065)
6. 腎腫瘍臨牀診斷上ノ注意……………(1067)
7. 腎結石ト誤ラシメタル¹⁾ピエログラム¹⁾供覽……………(1068)
8. 副辜丸結核ト誤診セラレタル辜丸腫瘍ニ就テ……………(1069)
9. 綜説胃ノ¹⁾レントゲン線検査法ニ就テ……………(1069)

京都外科集談會(9月例會)

1. 臨床瑣例1題……………(1205)
2. 瓦斯壞疽患者ノ1例……………(1207)
3. 膀胱ノ輸尿管開口部結石……………(1208)

外 國 文 獻

- 蟲様突起及ビ小腸ノ類癌ニ就テ……………(87)
- 疾病ノ原發病竈診斷上ノ補助法トシテノ¹⁾モルヒネ¹⁾靜脈内注射……………(87)

急性脾臓炎、其療法ト持續効果	(88)
帶狀脊髓麻醉法	(88)
切除不能ナル十二指腸潰瘍ノ手術的處置ニ就テ	(89)
腎臓炎ノ外科的療法	(89)
空洞性肺結核ノ肋膜外充填法ニ對シテ	(90)
蟲様突起切除術ニ於ケル切除斷端ノ埋没ノ可否	(90)
胃全摘出術ニ就テ	(91)
氣管枝喘息ノ原因及ビ治療ニ關スル1考察	(92)
慢性腎臓炎ノ外科的療法及ビ其ノ効果	(356)
再發ヲ防グヘルニヤ ¹ 手術ノ新法	(356)
筋痛ノ新療法	(357)
手術胃ノ胃炎ニ就テ	(357)
輸尿管 ¹ アトニーニ就テ	(358)
軟部組織畸形ノ整形ニ際スル皮膚全層移植	(358)
網膜囊 ¹ バントカイン ¹ 液充滿法ニ據ル上腹部内臓麻痺法	(359)
噴門緊張性食道擴張ニ就テ	(360)
電氣切開ニ於ケル創傷治癒	(361)
扁桃腺炎後ノ敗血症及ビソノ外科的處置	(361)
下腿潰瘍ノ治療	(362)
包莖手術ノ1方法	(362)
慢性硬腦膜下血腫	(655)
脾臓ノ1新内分泌物循環 ¹ ホルモン ¹ ¹ カリクライン ¹ 及ビソノ治療の使用	(655)
膽道手術ニ於ケル開腹法	(656)
腎腎盂切開術ニ就テ	(656)
脾臓ノ經口の投與ニヨル骨關節結核瘻孔ノ治療的影響	(656)
喘息ト膽石	(657)
腸重積整復後ノ外科的處置	(658)
手術施行ノ無菌度保持	(659)
癌ト結核トノ關聯性ニ就テ	(945)
纖維腫性骨變化ヲ伴ヘル副甲狀腺腫ノ1例	(935)
¹ トトロラスト ¹ ニ依ル網狀内皮細胞系閉鎖ノ傳染ニ及ボス問題ニ就テ	(936)
結核ニ於ケル充填手術ノ經驗	(936)

急性縦隔竇氣腫ノ外科的療法	(937)
十二指腸潰瘍ニ對スル所謂姑息的切除ノ無効果例	(938)
急性蟲様突起炎ノ診斷特ニ所謂 Rovsing 氏症狀ニ就テ	(939)
腸瘻管ノ處置	(939)
總輸膽管成形術ノ1新法	(940)
遊離大綱膜移植術	(940)
脾臓損傷時ノ止血法	(941)
腎瘻形成術適應症ト技術	(941)
慢性骨髓瘍ノ診斷ト治療	(942)
活動性上皮ノ移植	(1070)
火傷處置ニ於ケル過誤、危險及ビ偶發症	(1070)
靜脈瘤硬化注射ノ1新劑	(1071)
頸腺摘出技術ニ就テ	(1071)
股 _L ヘルニアニ對スル鼠蹊靱帶恥骨締捩法	(1071)
洞腹膜の膀胱切開ニ就テ	(1072)
大腿骨頸部骨折ノ大轉子移植法	(1073)
消化性潰瘍ト間腦	(1073)
乳頭下方十二指腸狭窄ヲ伴ヘル潰瘍胃ノ切除ニ就テ	(1074)
高張食鹽水活入ニ依ル腸管不全麻痺ノ處置	(1074)
辜丸附屬體捻轉	(1074)
大氣管支瘻、格子狀肺、及ビ破開セル結核性空洞ノ手術的閉鎖	(1209)
臨牀の膽囊、蟲様突起複合症ニ就テ	(1209)
膽囊疾患ヲ合併セル潰瘍ニ對スル胃切除術	(1209)
閉塞性動脈炎及レイニヨー氏病ニ於ケル内臓神經切除	(1210)
先天性股關節脱臼ノ豫防ニ就イテ	(1211)
緩和ナル骨髓炎ニ關スル觀察	(1211)
酸化ニヨル創傷治療	(1211)
癌ノ疼痛ニ對スル1新治療法	(1211)

 雜

 錄

第33回近畿外科學會(上)	(94)
第3回香川縣外科集談會.....	(102)
洋醫消息(講演)	横 田 浩 吉 (348)
第33回近畿外科學會(下)	(363)
第33回日本外科學會漫評, 其他6編.....	(660)
第34回近畿外科學會	(922)

事物索引 (第九卷 昭和七年)

(太字ハ原著 斜字ハ臨床)

A

- ┌ アクリジンクロロイド¹ノ血壓ニ對スル影響...98
┌ アウエルチン¹麻酔..... 661
壓迫示界法ノ診斷上ノ意義..... 918
┌ アンチビールス⁷(Besredka) 934
┌ アナトキシニン¹
赤痢——, イムペゲン¹ノ立證.....278, 285
┌ アナワクチン¹
赤痢本型菌——免疫學的研究.....246, 262, 270
アルビー手術, 移植骨片ノ運命..... 917
┌ アルチゴン¹ノ含有スル┌ イムペゲン¹ノ立證...20

B

- バーロー氏病, 實驗的——骨變化X線像.....371
微毒ニヨル┌ サルバルサン¹注射前後ノ血像.....96
微毒單獨補體結合反應(微毒 S.R.R.).....73
バセドウ氏病
——甲狀腺腫切除後ノ糖尿.....100, 309
膀胱
——破裂, 畸形..... 369
——乳嘴腫..... 85, 326
洞腹膜的——切開術.....1072
——輸尿管開口部結石.....1208
虫様突起,
切除後斷端埋没ノ可否.....90
——及小腸ノ類癌.....87
急性——炎, Rovsing 症狀..... 939
——炎, 穿孔性腹膜炎,
麻痺性┌ イレウス¹..... 920
家兎——, 淋巴管系..... 925
——炎ノ症狀ハ
——炎固有ナリヤ..... 920
蛔蟲迷入ニヨル急性——炎..... 920

C

- 中軸法.....1206
腸石ニヨル┌ イレウス¹(フィトベツォアール)...94
腸間膜, 孤立性——淋巴腺結核..... 64
腸閉塞¹

- 食餌性——..... 366
空腸上位ノ——..... 342, 343
植物性腸石ニヨル——..... 630
急性——, 腎臟機能.....1149
腸重積
高位直腸癌ニヨル——..... 365
——整復後ノ外科的處置 658
ブラウン氏補助吻合部ヲ基點トセル——...1064
腸血行ト腸運動..... 924
腸管内壓ト腸運動..... 924
腸管囊氣腫..... 919
腸管不全麻痺, 高張食鹽水注入.....1074
腸瘻管ノ處置..... 939
直腸癌, 局所麻痺ヲ主トシテ行ヒタル..... 927

D

- 大腿ノ深部慢性腫脹 331
大腿骨頸部骨折, 大轉子移植法.....1073
大氣管支瘻, 格子狀肺, 破開セル結核性空洞
ノ手術的閉鎖.....1209

E

- ┌ エンツェフアログラフイー¹.....1205

F

- 蜚咬傷..... 102
腹部
——┌ ノイローゼ¹..... 101
——大動脈瘤..... 366
巨大ナル——膠様腫瘍..... 366
腫瘍及膽石症..... 640
巨大ナル上——腫瘍..... 648
腫瘍, 握雪音ヲ示セル..... 917
腸壁, 寒冷, 溫熱, 腸管運動..... 667
腹腔内癒着, 無菌の開腹術後ノ..... 63
腹腔胸腔内病變X線診斷法 662
腹膜異物吸收, 淋巴管..... 585
腹膜炎
急性——診斷上ノ¹補助法..... 667
穿孔性——後發症トシテノ肺轉位..... 923

潜在腸結核ニヨル急性——	1603
結核性——診斷	345
不定骨痛	341
副腎腫骨轉位	649
副睪丸結核ト誤診セル睪丸腫瘍	1069

G

「ガス」壞疽	1207
癌ト結核トノ關聯性	935
逆行性腎臟摘出術	1190
義布希固定縛帶, 無碍性——	921
癌疼痛ニ對スル新法	1213

H

肺結核	
レントゲン診斷, 軟線撮影	100
肺剝離術, 「コクチゲン」, 人工氣胸法	337
空洞ヲ有スル——治療方針	923
肺虛脱, 廣汎性	667
肺臟ノ神經支配	666
ハツケル氏胃腸吻合ニ對スル批判	363
ハツケル氏胃腸吻合後, 消化性空腸潰瘍	914
汎發性纖維性骨炎	1177
「ヒスタミン」	
熱傷ニヨル——代謝	916
——反應トシテノ——代謝	916
臓器——生成ト中和	915
——及ビ——様物質ノ定量	915

皮膚	
護謨腫	69
諸種藥物注入ニヨル皮下組織變化	98
癌	906
脾臟ノ經口の投與, 骨關節結核癰孔	656
脾臟損傷時ノ止血法	941
「ヘルニヤ」	
箝頓——, ムツケル氏憩室ニヨル	103
股——, 鼠蹊韌帶恥骨締縮法	1071
再發ヲ防グ——手術新法	356
自然穿孔ヲ來セル小兒臍——	926
扁桃腺後敗血症	361
包莖手術新法	362
閉鎖性動脈炎及「レイニョー」氏病内臟神經切除	1210

I

「イムベジン」	
「アルチゴン」ノ含有スル——ノ立證	20
レントゲン線照射ト——破却	14
「スピロヘータ・パルリダ」ノ産出スル——	143
「バラチブス」A菌ノ含有スル——,	409
傳研製赤痢「ワクチン」中ノ菌體ハ——	
ヲ含有スルヤ	224
人ノ惡性腫瘍ト——現象	665
人ノ癰結節ト——現象	610
完全破却好適煮沸時間	617
好適煮沸時間ト反應位相	745
人ノ健康皮膚ト人癰結節ノ生物學的差別	760
抗腸「チブス」菌特殊免疫凝集產生	780
「オムナジン」ノ——現象	805
破却好適煮沸時間	819
原「オムナジン」ト20分煮沸ノモノトノ	
抗原能動力ノ差	829
原「オムナジン」ノ——立證	846

異物嚥下	103
「イレウス」實驗的——ノ腸壁「エキストラクト」,	
血壓	925

移動性盲腸

診斷法	916, 926
移動性盲腸症 Ro-enstein 逆症候	1199

胃

胃, 十二指腸潰瘍, 統計	45
潰瘍胃, 切除	1074
胃潰瘍穿孔ニヨル横隔膜下膿瘍	651
手術胃ノ胃炎	357
胃噴門部游離移動術, 循環障礙	153
胃全摘出術	91
胃切除後「ブラウン」氏吻合部ノ癌轉移	1065
胃液ノ酸度, 「クロール」曲線	101

J

腎臟

水腫ノ成因	1, 106, 377
——炎ノ外科的療法	89
慢性——炎ノ外科的療法	356
腎盂切開術	656
化膿性腎盂炎	903
腎腫瘍臨床診斷上ノ注意	1067, 1068

腎囊成形術適應症, 技術.....	941
腎結石ト誤レル「ピエログラム」.....	1068
十二指腸	
球部畸形.....	650
潰瘍ニ對スル姑息の切除.....	938
潰瘍, 切除不能ナル——ノ手術處置.....	89
擴張症, 手術後ノ.....	339
縱隔竇	
急性——氣腫ノ外科的療法.....	937
靜脈瘤, 硬化, 注射ノ一新劑.....	1071
靜脈内持續注入法.....	929
K	
下腿	
潰瘍.....	74
潰瘍ノ治療.....	362
火傷	
處置ニ於ケル過誤.....	1070
患者52例.....	663
化膿創ノ處置.....	912
化膿性骨髓炎.....	634
開胸術	
後肋膜腔吸收.....	998, 1120
蛔虫迷入	
急性睪炎.....	366
虫様突起炎.....	920
活動性上皮移植.....	1070
肝臓	
轢過ニヨル皮下破裂.....	922
機能ト尿「イミダツオール」.....	914
紡錘形細胞肉腫.....	368
頸腺摘出技術.....	1071
血液型	
檢定試薬.....	922
外科の疾患ト——.....	922
高松地方人——分佈.....	102
京都地方住民——.....	94
血球凝集反應, 臨床的意義.....	368
血清「アルブミン」A.....	372
結核	
充填手術經驗.....	936

肋膜外充填法.....	90
「リパーゼ」消長.....	97, 918
特効注射薬「セトロニン」.....	102
空腸潰瘍, 消化性——,.....	45
氣管枝喘息	
植物性神經手術.....	664
——ノ外科.....	664
原因, 治療.....	92
胸管	
左頸淋巴管結紮, 損傷.....	131, 956
筋痛ノ新療法.....	357
「コクテゲン」	
大腸菌——.....	95
綠膿桿菌感染.....	95
連菌混合——軟膏, 局所免疫.....	663
淋菌膿漏眼ト淋菌——.....	931
「スピロヘータ・バルリダ」——.....	932
睪丸	
皮様囊腫.....	928
腫瘍.....	915
附屬體捻轉.....	1074
副——内, 淋巴管分佈.....	685
後肢血管壁神經分佈.....	389
硬腦膜下血腫, 慢性ノ.....	655
骨縫合器材.....	917
骨盤結締織内巨大卵巣囊腫.....	1065
骨髓炎, 觀察.....	1211
L	
淋巴管壁ノ異物通過性, X線.....	896
M	
迷走神經ト交感神經トノ接合實驗.....	1130
迷走交感神經麻醉法.....	661
メツケル氏憩室.....	103
免疫元貼用, 皮膚局所免疫ノ本態.....	933
「モルヒネ」靜脈内注射, 原發病竈診斷.....	87
網膜囊「パントカイン」液充滿法, 上腹部	
内臟神經麻痺法.....	357
N	
軟部組織畸形整形, 皮膚全層移植.....	358
乳腺腫瘤.....	1062

肉腫			兩側橈，尺骨癒合.....	916
——，生物學的検査，發生原因論.....	98		顎下腺囊腫.....	928
——剔出後廣汎ナル骨移植.....	369		股關節脱臼ノ豫防.....	1121
——(人ノ)，癌腫，生物學的差別.....	933		穿顱術.....	1205
乳腺——.....	100		潜伏睾丸(兩側)，肉腫.....	368
骨——.....	333		纖維腫性骨變化，副甲状腺腫.....	935
膿胸，陳舊ナル窘扼性——.....	652		攝護腺腫ト誤レル腸腫瘍.....	368
膿瘍			齒齦腫.....	1057
傳染セル鬱積——.....	653		手術施行ノ無菌度保存.....	659
寒性及熱性——ノトリプシン.....	94, 635		四肢脱臼，血行障礙レ線診斷法.....	662
生物學的區別.....	94		神經性胃腸運動障礙.....	101
水素イオン濃度ニ就テ.....	303		小兒尿浸潤.....	922
慢性非結核性——，蛋白溶解素.....	902		消化性潰瘍.....	1073
寒性——.....	912		空腸ノ——.....	45
慢性骨——ノ診斷，治療.....	942		食道	
橈骨 Brodie 氏——.....	930		切除後上斷端閉鎖縫合.....	168
O			胃吻合.....	175, 206
横隔膜			擴張，噴門緊張性.....	360
——下膿瘍.....	78		外科.....	670
脱腸.....	102		生理.....	701
ヘルニヤ.....	163		血管分佈.....	729, 983, 1078
神經捻除.....	115		外科ト迷走神經.....	963, 1094
「オムナゲン」中菌體ノ意義.....	872		食餌性骨病.....	1028
P			食餌性腸管閉鎖症.....	366
フツチー氏手術.....	919		植皮.....	66, 1062
R			脾臓	
癩，誤診サレタ——.....	83		急性炎.....	88, 366
レックリングハウゼン氏病.....	99		囊腫.....	102
卵巢囊腫.....	1065		1新内分泌「カリクライン」.....	655
肋間神經切斷ト呼吸.....	31, 115		創傷治療.....	97
肋軟骨外科，解剖，病理，臨床.....	424		電氣切開.....	361
S			酸化ニヨル——.....	1121
又狀肋骨.....	102		總輸膽管成形手術新法.....	940
催膽劑，動植物性食餌越幾斯.....	365		T	
膽腸管殘遺.....	1206		多發性膠樣纖維腫.....	84
性ノ決定.....	368		膽道，手術，開腹法.....	656
脊髓麻醉法.....	661		膽石症	
脊髓疾患，外科的.....	920		無結石——.....	337
脊柱「カリエス」ノ手術的侵襲.....	920		膽囊	
先天性			——虫様突起複合症(臨床的).....	1209
斜頸ノ因成.....	99		——疾患ヲ合併セル潰瘍ニ對スル胃切除術.....	1209

短波長，超短波長電波外科的應用.....	663
帶狀脊髓麻醉法.....	88
體液内血色素.....	97
體液及組織内「クロール」.....	98
テイーチエ氏病.....	312
癲癇症，局所性急性腦炎後.....	1205
凍傷.....	314
特發性氣胸.....	1052
特殊自動免疫	
黃色葡萄狀球菌，感染皮膚局所.....	1015
「トロトラス」.....	94, 936

V

Vena pylorica (Mayo).....	100
---------------------------	-----

W

Wangenspalte	1206
--------------------	------

Y

野兔病.....	664
癱ノ療法.....	103
遊離大網膜移植術.....	940

輸血

用血液.....	665
間接——ト直接——.....	666

輸尿管

「アトニー」.....	356
病的腎，——結紮.....	666

Z

喘息ト膽石.....	657
頭蓋骨折，血腫.....	84

Inhalt des neunten Bandes.

(Ausgegeben 1932.)

ORIGINAL.

Mori, Y., Zur Frage der Entstehung der Hydronephrose.	
III. Mitteilung: Das Problem des Stenosengrades des Ureters	1
Ishitani, K., Zur Feststellung der optimalen Röntgenbestrahlungszeit zwecks Vernichtung des Impedins.	
I. Mitteilung: Versuchsergebnisse bei der Präcipitation bezüglich Typhusbazillen.	14
Sakamoto, N., Die Prüfung von Arthigon im Lichte des Impedins.	
IV. Mitteilung: Hinderung bei der immunisatorischer Erzeugung des gegen Typhusbazillen gerichteten Tropins im Blute der Versuchstiere.	20
Oyamada, Y., Experimentelle Studien über den Einfluss der Interkostalnerven durchschneidung auf den respiratorischen Gaswechsel.	31
Yamane, S., Über die statistische Beobachtung des Magen- und Duodenalgeschwürs.	45
Kambe, N., Über postoperative intraabdominelle Adhäsionen.	63
Mori, Y., Zur Frage der Entstehung der Hydronephrose.	
IV. Mitteilung: Hydronephrose auf Grund dynamischer Abflussstörungen. ...	105
Oyamada, Y., Experimentelle Studien über den Einfluss der Phrenicusexaisese und der gleichzeitigen Interkostalnervendurchschneidung auf den respiratorischen Gaswechsel.	115
Nose, Z., Komplette Unterbrechung des Abflusses des Ductus thoracicus und des Truncus jugularis sinister in das Venensystem und die darauffolgende Veränderung der Zirkulationsverhältnisse im Lymphgefäßsystem.	131
Tatsumi, K., Mit welchem Bestandteile des Antigens, den Proteinkörpern oder den Lipoiden, ist das in dem durch Spirochaeta pallida infizierten Kaninchenhoden enthaltene Impedin verbunden?	143
Araki, Ch., Zur Frage der Zirkulationsstörung der Magenwand bei der Freilegung der Cardia zum Zwecke der operativen Eingriffe am Oesophagus.	153
Araki, Ch., Ist die operativ entstandene transdiaphragmae Verlagerung der Baucheingeweide in die unilaterale Brusthöhle (Hernia diaphragmatica spuria) zu fürchten?	163
Araki, Ch., Über die Zuheilung des ad u. für sich geschlossenen oralen Stumpfes der thorakalen Speiseröhre Resektion.	168
Araki, Ch., Experimentelle Studien über die Anastomose zwischen Oesophagus	

und Magen.	
I. Mitteilung: Prüfung der bisher geübten Methoden zur Vereinigung der Speiseröhre mit dem Magen.	175
Araki, Ch., Experimentelle Studien über die Anastomose zwischen Oesophagus und Magen.	
II. Mitteilung: Einige Hilfsmethoden zur Sicherung der Oesophago-Gastrorrhaphie, über die methodische Umzingelung der Nahtstelle mittels des Omentum majus.	206
Hayashi, H., Nachweis des Impedins in den Mikrobenleibern der Shiga-Dysenteriebazillen- Vakzine.	224
Hayashi, H., Vergleich der Anavakzine mit dem Koktigen der Shiga-Dysenteriebazillen in der Anavakzine mit dem Koktigen der Shiga-Dysenteriebazillen in der immunisierenden und der toxischen Wirkung.	
I. Mitteilung: Unterschied in der Erzeugung virulizider Antikörper im Blute.	246
Hayashi, H., Vergleich der Anavakzine mit dem Koktigen der Shiga-Dysenteriebazillen in der immunisierenden und der toxischen Wirkung.	
II. Mitteilung: Unterschied in der Erwerbung der aktiven Immunität (Versuchsgruppe A.)	262
Hayashi, H., Vergleich der Anavakzine mit dem Koktigen der Shiga-Dysenteriebazillen in der toxischen Wirkung.	
III. Mitteilung: Unterschied in der Erwerbung der aktiven Immunität (Versuchsgruppe B.)	270
Hayashi, H., Nachweis des Impedins im Anatoxin (Meguro) von Shiga-Dysenteriebazillen.	
I. Mitteilung: Paralyse der Phagazytose.	278
Hayashi, H., Nachweis des Impedins im Anatoxin (Meguro) von Shiga-Dysenteriebazillen.	
II. Mitteilung: Paralyse der Agglutininbildung im zirkulierenden Blute.	285
Sakamoto, N., Zum klinischen Nachweis des proteolytischen Fermentes in verschiedenen Eiern.	303
Nagaoka, H., Ein Fall von Glykosurieauftritt nach der Strumiektomie bei der Basedowschen Krankheit.	309
Himeï, K., Über Tietzesche Krankheit (Dystrophie des Rippenknorpels)	312
Takatsu, F., On the Frost-Bites Encountered in the Manchurian Affair of 1931.	314
Mori, Y., Zur Frage der Entstehung der Hydranephrose.	
V. Mitteilung: Die zur Hydronephrosenbildung Beihilfe leistende Momente.	377
Tauchi, H., On the Innervation of the Blood Vessels of the Hind Limb.	
II. Histological Studies.	389

Ishitani, K., Über die die im zirkulierenden Blute vor sich gehende normale Phagozytose von Staphylokokken hindernde Wirkung des Impedins bei Paratyphus A-Bazillen.....	409
Miyazaki, M., Anatomische, pathologische und klinische Studien über die Rippenknorpelchirurgie.....	424
Teshima, G., Untersuchung über das Verhalten der Lymphgefäße bei der peritonealen Resorption.....	585
Koh, B., Nachweis des Impedins bei Leprabazillen.	610
Koh, B., Feststellung der optimalen Abkochungszeit zur gänzlichen Vernichtung des Impedins bei Leprabazillen.....	619
Iwaki, S., Ein Fall von Phytobezoar-Ileus.	629
Naito, F., Über die feinere Verieilung der Lymphgefäße im Hoden und Nebenhoden.	585
Higashi, S., An Experimental Study on the Physiology of the Esophagus.....	701
Ogai, S., Quantitative Studies on Blood Vascular Distribution of the Oesophagus. I. On the Vascular Supply of the Oesophagus of the Rabbit.	729
Koh, B., Nachweis des Impedins bei Leprabazillen unter Berücksichtigung der optimalen Abkochungszeit zur Vernichtung des Impedins und der maximalen Antigenwirkung.	745
Koh, B., Biologische Unterschiede zwischen dem Lepraknoten und der normalen menschlichen Haut in der Förderung der Phagozytose.—Die Impediner-scheinung bei Leprabazillen.....	760
Koh, B., Nachweis des Impedins der Leprabazillen bei der Immunisatorischen Erzeugung des Antityphusbazillenagglutinins im zirkulierenden Blute der Kaninchen.....	780
Koh, B., Nachweis des Impedins bei Omnadin.	805
Koh, B., Feststellung der optimalen Abkochungszeit des Omnadins zur totalen Vernichtung des Impedins, d.h. zur gänzlichen Regenerierung der Antigena-vidität.	819
Koh, B., Ist der Unterschied zwischen dem originalen und dem 20 Min. abge- kochten Omnadin in der Antigenavidität dem der Toxizität zurückzuführen?... ..	829
Koh, B., Nachweis des im Omnadin (Much) enthaltenen Impedins bei der durch eine Typhusbazillenvakzine herbeigeführten spezifischen immunisatorischen Erzeugung des Antityphusbazillenagglutinins.	846
Koh, B., Die immunologisch Bedeutung der im Omnadin (Much) enthaltenen Bakterienleiber.	872
Teshima, G., Einfluss der Röntgenbestrahlung auf die Durchlässigkeit der Lym- phgefäßwand.	896

Hazama, F., On the Proteolytic Ferment in Non-tuberculous Chronic Abscess....	902
Naito, E., Komple-te Unterbrechung des Abflusses des Ductus thoracicus und der beiden Trunci jugulares in das Venensystem und ihre Folgeerscheinungen. Eine experimentelle Studie am Hunde.	955
Higashi, S., Significance of the Vagus Nerve in the Surgery of the Oesophagus. I. Experimental studies on the Influences of Stimulation or Injury of the Vagus Nerve upon Respiration.	962
Ogai, S., Quantitative Studies on Blood Vascular Distribution of the Oesophagus. II. On the Vascular Supply of the Oesophagus of the Dog.....	983
Ochida, M., Experimental Studies on Absorption from the Pleural Cavity after Thoracotomy. Report I.	998
Hatta, S., Nachweis des spezifischen Opsonins (des Tropins) in loco der einmal infizierten Hautstellen.	1015
Yamane, T., Über die sogenannte Osteopathia alimentaria. I. Die durch Einführung von Rohrzucker verursachenveränderung bei jungen Kaninchen.....	1028
Suguro, S., Über einen Fall von spontanem Pneumothorax.	1052

Sachregister. (Band IX, 1932)

[本索引へ歐文論文及歐文抄録ノミヨリ採録ス]

A

- Acute Intestinal Obstruction.....1151
 Anastomose zwischen Oesophagus und
 Magen 175
 Anavakzin, Kóktigen der Shiga-Dysenterie-
 bazillen 246, 262, 270
 Antityphusbazillen Aggultination ... 780, 846
 Arthigon, im Lichte des Impedins..... 20

B

- Blood Vascular Distribution of the Oeso-
 phagus 729, 982, 1077
 Blood Vessels of the Hindlimb 390

D

- Ductus thoracicus 131, 955
 Durchlässigkeit der Lymphgefäßwand.—
 Röntgenbestrahlung..... 896

E

- Entstehung der Hydronephrose ... 1, 106, 377
 Esophagus, Physiology 701

F

- Frost-Bites 314

G

- Glykosurieauftritt nach der Strumiektomie 309

H

- Hernia diaphragmatica spuria 163
 Hydronephrose.....1, 106, 377

I

- Impedin
 —bei Leprabazillen... 610, 619, 760, 780, 745
 —des Omnadin, Abkochungszeit, Anti-
 genavidität 819
 Nachweis des Impedins bei Omnadin ... 805
 —im Anatoxin von Shiga-Dysenterieba-
 zillen 278, 285

- in den Mikrobenbibern der Shiga-
 Dysenteriebazillen-Vakzine 224
 —bei Paratyphus A-Bazillen 409
 —bei Spirochaeta pallida 1:3
 Vernichtung des—(Röntgenbestrahlung) ... 14
 Interkostalnervenschneidung 31, 115

L

- Lepraknoten, Biologische Unterschiede ... 760
 Lymphgefäße
 —im Hoden und Nebenhoden, (Verteil-
 ung) 685
 —bei der peritonealen Resorption 585
 —wand, Durchlässigkeit 896

M

- Magen-, Duodenalgeschwür, (Statistik) ... 45
 Muchsche Omnadin ... 805, 819, 829, 846, 872

O

- Oesophago-Gastrostomie 206
 Ostitis fibrosa generalisata1176

P

- Paralysierung der Phagozytose..... 278
 Phagozytose von Staphylokokken 409
 Phrenicusexairese..... 115
 Physiologie of the Esophagus 701
 Phytobezoar-Ileus 627
 Präcipitation bezüglich Typhusbazillen ... 14
 Proteolytische Fermente in Eiter..... 303
 in Non-tuberculous chronic Abscess..... 902

R

- Retrograde Nephrectomy1190
 Rippenknorel, Chirurgie, Anatome, Patho-
 logie, 424

S

Sogenannte Osteopathia alimentaria	1028
Spezifische Opsonin (Tropin)	1015
Spontane Pneumothorax	1052
Statistische Beobachtung des Magen und Duodenalgeschwürs	45
Stenosengrad des Ureters	1

K

Knochenveränderung (Einfl. von Rohrzucker)	1028
--	------

T

Thoracotomy, Absorption from the Pleural-	
---	--

cavity	999, 1121
--------------	-----------

Thorakale Speiseröhre	168
Typhusbazillen Vakzin	846

V

Vagus Nerve in the Surgery of the Oesophagus.	962, 1094
Vagus, artificialanastomose between Sympathicnerves and —	1130
Vascular Supply of the Oesophagus of the Rabbit	729

Z

Zirkulationsstörung der Magenwand	153
---	-----